



辻よし子と歩む会

「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・岩田純子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず
コツコツと手作りの政治を！

「辻よし子と歩む会」ホームページ
http://www.geocities.jp/yt_ayumukai/



本気で守る気がありますか？

世界的に貴重な野鳥の繁殖地が……



あきる野市内には、世界にわずか 1,000 羽しかいないミゾゴイが繁殖しています。ところが、昨年度、市内の繁殖地の一つである三内川で砂防工事（崖の崩落防止工事）がおこなわれ、ミゾゴイの繁殖に大きな影響を与えてしまいました。この問題については、NHKのテレビ番組や西多摩新聞などで大きく報道され、今年 3 月の市議会でも取り上げられました。砂防工事をおこなっているのは東京都西多摩建設事務所ですが、市側の責任者である都市整備部長と環境経済部長は、「今回の工事についてはミゾゴイが繁殖していることを把握していなかった。今後の工事については都側に調査と保全対策を求める」と議会で答弁しました。



ミゾゴイ（写真はインターネットから）
世界にわずか 1000 羽しか生き残っておらず、日本でしか繁殖していない野鳥で、世界的にも保全の必要性の高い種である。

それにもかかわらず、なんと、ほぼ同じ内容の工事が三内川上流でおこなわれようとしているのです。9月の終わりに、「辻よし子と歩む会」の会員から連絡を受け、工事が間もなく始まることを知りました。早速、現地を歩き、その後、東京都西多摩建設事務所とあきる野市自然環境政策課を訪ね、工事内容の見直しを求めましたが、納得のいく回答は得られませんでした。

確かに、これまで何回か大雨の後に路肩の崩れたことがあり、砂防工事が必要な場所かもしれません。しかし、工事の進め方によっては、砂防の目的を果たしながら、環境への影響を極力抑えることができるはずですが、東京都側にはその十分な努力が見られず、一方、あきる野市側は議会で約束したにもかかわらず、東京都にミゾゴイの保全についてきちんとした要望をしていません。「生物多様性地域戦略」を掲げるあきる野市なのですから、もっと本気で自然を守るために動いて欲しいと思います。（辻よし子）

★三内川を一緒に見に行きませんか？ 11月 25日（月）10：00 五日市駅前集合（要申込 歩む会事務所まで）

市民の
つぶやき
(その1)

「無所属」＝「無党派」ではない！？

6月のあきる野市議選では、立候補者 25 人のうち、無所属が 15 人いました。当選した無所属議員は 11 人。ところがフタを開けてみたら、なんと！ そのうちの 8 人が「自民党志清会」に、1 人が「市議会自民党」に入っていました。何かヘンだと思いませんか？

「無所属」とは「どこ（の政党）にも所属していないこと」という意味です。そういう人はポスターなどに、「無所属（隠れ〇〇党員）」とか「無所属（当選したら〇〇党に入ります）」とか、はっきり書いてもらいたいものですね。もちろん、我々が「辻よし子」は、当選しても無所属のままですよ！（S）

9月議会を振り返る

市民から出された陳情（★）と主な議案について、各会派の議決をまとめてみました。ここから見てくるものは？

趣旨採択では、何も変わらない。
高齢者の病院での支払いが、4月から倍に…。
オスプレイが横田基地に！？

(○は賛成、×は反対)	自民党志清会	公明党	共産党	市議会自民党	政和会	民主党
原発事故子ども被災者支援法 早期実現の意見書★	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択
旧秋川高校跡地の活用 計画の見直し★	継続審議	継続審議	継続審議	継続審議	継続審議	継続審議
H24年度一般歳出歳入決算	○	○	×	○	○	○
H24年度国民健康保険 特別会計歳出歳入決算	○	○	×	○	○	○
H24年後期高齢者医療 特別会計歳出歳入決算	○	○	×	○	○	○
H24年度介護保険 特別会計歳出歳入決算	○	○	×	○	○	○
横田基地オスプレイ配備の 撤回を求める意見書	○	○	○	○	○	○
高齢者の医療費窓口負担 1割の継続を求める意見書	×	×	○	×	○	○
消費税増税計画の実施 中止を求める意見書	×	×	○	×	×	○
(各会派の議員名)	天野、市倉、子籠、澤井、中嶋、細谷、堀江、町田、村野	田中、増崎、松原	たばた、戸沢、山根	奥秋、村木	合川、野村	清水、中村

あきる野市議会では、なぜか、議決の際の各議員の賛成、反対を記録していません。そこで仕方なく、傍聴時の記録と議会中継録画を見てまとめました。

「男・女」の記載をめぐる



住民登録、印鑑登録、各種保険など、市役所でいろいろな申請書を出すときに、住所、氏名と共に性別を書くことがあります。多くの人にとっては、特に意識せずに書く項目かもしれませんが、性同一性障害の人（身体的な性別と性自認が一致しない人）にとっては、毎回、書くことが辛い項目です。市内に住む当事者のIさんから、この問題を聞いた私たちは、あきる野市の状況を調べてみることにしました。

今回わかったことは、すでに10年近く前、国から、「これまでは性同一性障害者への配慮が足りず、特に性別が必要のない書類にまで性別欄が含まれていることがあった。今後は、各自治体で必要のない性別記載は見直すように」という方針が出されていたということです。八王子市や小金井市では、この方針に基づいて市の様々な書類についての洗い直しがおこなわれ、必要のない性別記載欄は削除されたそうです。

そこで、当時あきる野市ではどのような見直しがされたのか、10月8日に、「辻よし子と歩む会」のメンバー4人と当事者Iさんで担当部署（総務課と企画政策課）を訪ね、両課長から話を聞きました。10年近く前に出された方針なので、今すぐには分からないとのことでしたが、私たちの趣旨は理解して下さい、後日庁内で調べた結果を教えていただくことになりました。

性同一性障害の方が、障害ゆえに辛い思いをすることなく、個人として尊重された生活ができるよう、性別記載の見直しが、そのための一歩となることを願っています。

★9月に、文京区と多摩市の市議会では、性的少数者への差別禁止を明記した条例案を可決しました。

女か？ 男か？ 単純には答えられない人もいる……。少数者にやさしい社会でありたいですね

